

ぱおぱお ニュース

< 病気の豆知識 >

今月は… 『マイコプラズマ肺炎』です

マイコプラズマという細菌が肺に感染しておこる病気で、幼児や学童期にかかることが多い病気とされています。血液検査やレントゲン写真などで診断されます。

典型的な症状の経過

- 症状は喉の痛み、咳や発熱などの風邪症状から始まり、だんだんと症状が重くなると言われています。
- 上がり下がりを繰り返す頑固な発熱としつこい咳が特徴的です。
- 熱が下がっても咳が1ヶ月近く続くこともあると言われています。

感染予防

- 咳やくしゃみのしぶきによる飛沫感染や、手についた細菌からの感染を防ぐことがポイントとなります。
- そのため、マスクの使用や手洗いをしっかりとすることが大切です。
- また、一緒に口の中や喉についた細菌を洗い流すためのうがいもとても有効ですね。

ご家庭で気をつけること

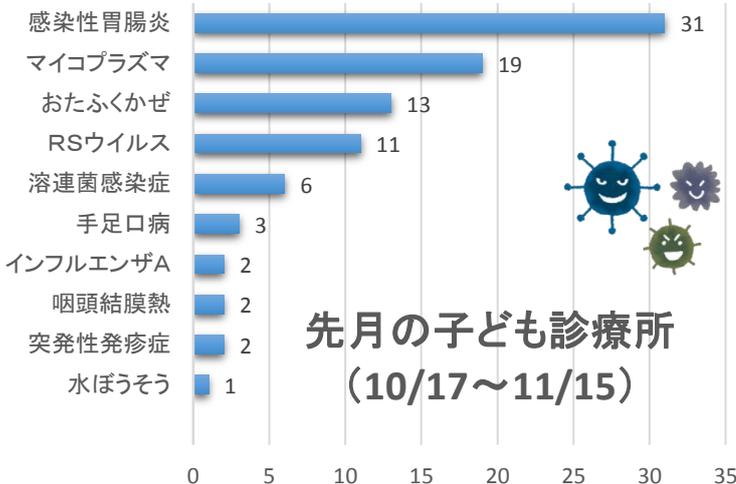
- 食欲がない場合は、脱水に気をつけて水分補給をこまめにしましょう。イオン飲料、野菜スープや味噌汁などお勧めです。
- 本人の好きなもの、食べられるものでカロリー摂取も必要です。

高熱が続く・咳き込みがひどく吐いてしまう
何も食べられず元気がなくなってきたなどの時は
もう一度受診したほうがよいでしょう。

登園・登校のめやす

- 熱が下がって咳が少なくなり、主治医の許可があれば行ってもよいでしょう。
- ただし、しつこい咳が続きますのでおさまるまでは、激しい運動は少し控えたほうがよいでしょう。

< 感染症情報 >



先月の子ども診療所
(10/17~11/15)

子ども診療所では…

・マイコプラズマ、RSウイルスは相変わらず目立ちますね。最近では寒くなり、感染性胃腸炎が急激に増えています。手洗い、うがいですっかり予防しましょう。

インフルエンザが出始めています。今シーズンはインフルエンザの流行が早いと言われています。

病児保育室ぱおぱおでは…

・最近では少し落ち着き入室の少ない日もありました。急性上気道炎、胃腸炎のお子さんが入室しています。RSウイルスのお子さんもありました。

< 病児保育室 よくある質問 >



お子さんが病気になって“こんな時どうしたらいいの？”と思うことはありませんか？
保育室利用の際、保護者によく聞かれることをまとめてみました。

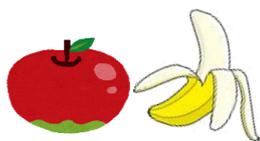
●風邪ひいたらお風呂はやめておいたほうが良いかしら？

熱があっても元気があり、機嫌がよければ入ってもかまいません。
体が温まることで鼻づまりの緩和や、湯気を吸うことで喉は保湿されます。気分転換にもなりますね。
ただし熱すぎるお湯や長風呂は、逆に体力を奪います。短時間の入浴にしましょう。



●食欲がなくて…どんな物が良いかしら？

なるべく消化が良く、のど越しの良い物を選びましょう。
体調が悪くてご飯やおかゆは嫌がっても、麺類を好むお子さんは多いです。
これからの季節、温かくして具沢山のにゅうめんも良いですね。
果物はりんご・バナナなどが消化吸収にいいと言われています。電子レンジで少し加熱すると
甘味もUP！すりおろしたり、つぶしたり出来るので離乳食のお子さんでも食べやすいですね。



ほとんど水分も摂れない時にはゼリーがおすすめです。
水分量が多く、同時にカロリーも摂取できます。



●解熱剤は使った方が良いかしら？

高熱でぐったりしている、機嫌が悪い、眠れない、何も食べられない
などであれば、使用してみても良いでしょう。
たとえ1度でも解熱すれば体が少し楽になり、食べたり眠れたり
するかもしれません。体力の温存も回復のポイントですね。



<スマイルコーナー> 病児保育室での心温まるエピソードなどをご紹介しますね。

もう小学生なのに！

H君は今年から小学生。ちょっぴり甘えん坊ですが、妹想いの優しいお兄ちゃんです。
この日保育室には久々の入室で、新しい小学校の楽しそうに色々話してくれました。
保育士がいつものように「そろそろお片づけしてお昼ご飯にしようか！トイレも行こうね～」と
声をかけると、慫慂とした表情のH君。その後「先生！僕もう小学生なんだから、
何でも“お”つけないでよね！」と言われました。普段赤ちゃん相手が多いのでつい…と反省。
そしてお母さんのお迎え時、帰りの支度をしながら「じゃあH君、お靴履いて…あっ！ごめん…」
「もお～先生やっぱり付けちゃうんだね～仕方ないなあ～」と笑いながら靴を履くH君でした。(S)



新年になると予約が混み合います。お早めに♪



新規ご登録は随時行っております。まずはお気軽にお電話を♪

お問い合わせ 病児保育室ぱおぱお（月～金 8:30～17:30）

TEL 042-521-2777